

学校だより 3月号1

令和6年3月1日(金)

「誇・光・力」錦江中!

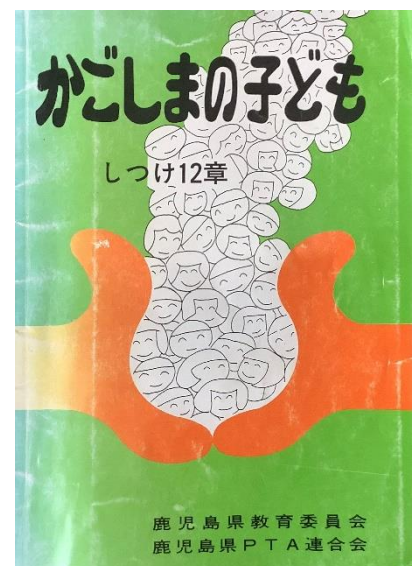


大人の役割を考える ～学校評価に思う～

校長 平國 弘明

「〇〇先生から声をかけてくださったと本人が喜んでいました。」「いつも丁寧な指導をありがとうございます。」「男子生徒が嫌がることを言ったりしているとよく耳にする。」「小学生が発する(ような)言動がある。」「授業中、たまにうるさく、授業に集中できない。」「夜遅い時間にゲームやグループ通話に誘う内容のメッセージが届いている。」「など意見や要望を学校評価の記述欄に数名の方が書いてくださった。これらの記述に、ショックを受けることも正直ある。「やはり」と感じること、「そうなんだ」と初めて気づくこともある。言葉を添えてくださることを実にありがたく思う。また、該当する評価を選択する18項目については、すべてが向上するように取り組んでいる。中でも最後18番目の「現在の学校に満足しているか」という質問を特に重視している。今学期の調査では、「満足している」もしくは「やや満足している」を選んだ方が90%で前回よりも3ポイントアップした。今後も学校教育の充実に努めて参りたい。

さて、右は、私が赴任2校目で、当時の校長先生から家庭教育学級用のテキストとして紹介していただいたもので、「かごしまの子ども しつけ12章」という県教育委員会と県PTA連合会が昭和50年に共同で編集・発行した冊子である。このまえがきにこうある。「子どもの健やかな成長を図るためには、毎日の生活の中で、子どもに対してきちんとしたしつけをすることが大切です。(中略) 核家族化や少子家族化の進む今日においても、子どものしつけの基本は変わりません。その意味で、この冊子は、いわゆるいじめや非行等の問題に日頃真剣に取り組んでおられる方々や、子どものしつけなど家庭教育に関心をもっておられる方々ばかりではなく、広く子どもをもつ多くの親の方々になんらかの示唆を与えてくれるものと思います。」この冊子の初版の頃は、校内暴力が大きな社会問題になっており、私が2校目にいた平成一桁頃も「荒れ」が多くの学校で問題となっていた時期である。今は、本校を含め、そのような学校はあまり聞かない。ただ学校評価に書かれているような状況も見られ、油断してはいけない状態になっているという声も上がっている。「子どもをきちんとしつける」ということは私たち大人の仕事であることを再度、自覚し直す必要があるのではないだろうか。ちなみに、この冊子の中学生期における「しつけ12章」には、「1. 心に残る読書をさせよう 2. 山坂達者な子どもに育てよう 3. 美しいものに感動する心を育てよう 4. 思いやりの心を育てよう 5. 稚心を去れ 6. 友達を大切にしよう 7. 勇気をもって最後までやりとげさせよ 8. 勉強は自分自身のものである 9. 生涯続けるスポーツをもて 10. 年少の子どもの面倒をみよ 11. 子どもにこびるな 12. おやじの生き方を語れ」。これらは、今の世においても、将来にわたって必要となる資質を育てることにつながるものだと思う。これを読み、理解できている生徒も既にいよう。一方でまだ理解できていない生徒もいるだろう。彼らにどう理解させていくかがポイントである。そのために、家庭や学校で、大人がこれらのことの大切さを語り、範を示していくことが必要ではないかと思うがいかがだろうか。



3学期保護者学校評価全学年%表示

3学期 学校教育等に関する評価(全学年保護者)【回収率 66%】

		%							
		4	3	2	1	4+3	2+1		
学校・生徒・家庭・その他について	1	生徒は、学校へ行くことを楽しみにしている。	31	56	7	6	87	13	3.1
	2	教職員は、分かりやすい授業に努めている。	19	70	11	0	89	11	3.1
	3	生徒は、元気で明るいあいさつができる。	19	61	19	1	80	20	3.0
	4	生徒は社会や学校のルールを守り、家庭では子どもの基本的な生活習慣の育成に努めている。	20	69	10	1	89	11	3.1
	5	家庭では生徒のネット・スマホ等の利用に関してしっかり管理できている。	17	54	24	4	71	29	2.8
	6	生徒が家庭で本を読む時間を設けている。	7	21	54	17	29	71	2.2
	7	生徒は家庭学習を90分以上行い、家庭で見届けている。	4	40	47	9	44	56	2.4
	8	生徒は、地域行事の参加や地域のお手伝いを積極的にしている。	4	56	33	7	60	40	2.6
	9	生徒は、学校行事や部活動等に積極的に参加している。	49	36	13	3	84	16	3.3
	10	生徒は、学校からの配付物を忘れずに親に渡している。	19	51	27	3	70	30	2.9
	11	生徒は、学校生活について、保護者に話をしてくれる。家庭では、子どもとの会話の時間を大切にしている。	34	60	4	1	94	6	3.3
	12	家庭では、日頃から進路や将来のことについて話し合っている。	23	66	10	1	89	11	3.1
	13	学校は、学校の目標や方針などの経営及び学校の様子について、保護者にわかりやすく伝えている。	17	69	13	1	86	14	3.0
	14	教職員は、積極的に生徒と関わり、個に応じた指導を行おうと努力している。	20	64	14	1	84	16	3.0
	15	教職員は、保護者からの生徒に関する相談に真剣に応じている。	24	67	7	1	91	9	3.1
	16	学校は、校内の美化や施設・設備の環境整備や感染症対策を行っている。	31	63	6	0	94	6	3.3
	17	学校行事や学級PTA・授業参観等には積極的に参加するように心がけている。	27	49	19	6	76	24	3.0
	18	現在の学校に満足している。④満足 ③まあ満足 ②やや不満 ①かなり不満	16	74	6	4	90	10	3.0

保護者・地域の皆様へ

能登半島地震災害義援金へのご協力ありがとうございました。生徒会が主体となって取り組み 17,177円の義援金でした。

学級PTA

2月22日(木)の学級PTAに出席くださった保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

都合で出席できなかった方も、学校へご質問等ありましたらどうぞご連絡ください。



「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を選んだ方が80%を超えた項目が18項目中12項目ありました。保護者の皆様のご理解・ご支援に感謝しております。

課題は、「読書の習慣化」「家庭学習の90分以上実施と見届け」「メディアとの関わり方」です。

今後も、学校とご家庭で連携し、課題の改善に取り組めたらと考えております。ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

職業講話 2/10(土)

3校時、講師に錦江町長新田敏郎様をお迎えして、職業講話をしていただきました。錦江町の現状やどのような町を目指しているのかなど多くのことを学ぶことができました。また、今年度の総合的な学習の時間に3年生が錦江町をよりよくするために考えたアイデアを実現するために錦江町が動いていることも知ることができました。講話をしていただき、ありがとうございました。

